令和元年度

「若手職員による『行政事業イノベーションプロジェクト』」

実施結果

プロジェクト事務局

（八王子市総合経営部・行財政改革部・総務部）

令和２年（２０２０年）２月６日

目　次

1　プロジェクトの概要　・・・・・・・　1ページ

2　活動の経過　・・・・・・・　2ページ

3　提案内容　・・・・・・・　3ページ

4　人財育成面の効果　・・・・・・・　4ページ

5　提案に係る対応状況　・・・・・・・　5ページ

はじめに

第９次行財政改革の取組のひとつとして、若手職員で構成する組織横断型のプロジェクトチーム「若手職員による『行政事業イノベーションプロジェクト』」を立ち上げました。このプロジェクトは、これまでのやり方にとらわれない若手ならではの発想力により、今の時代に合っているかの観点で既存事業の検証を行い、市長への具体的な改善提案を経て、その成果を予算などに反映し、市民サービスの向上を図ることを目指しています。

本書では、令和元年度（２０１９年度）のプロジェクトの活動結果を紹介します。

１　プロジェクトの概要

（１）　目的

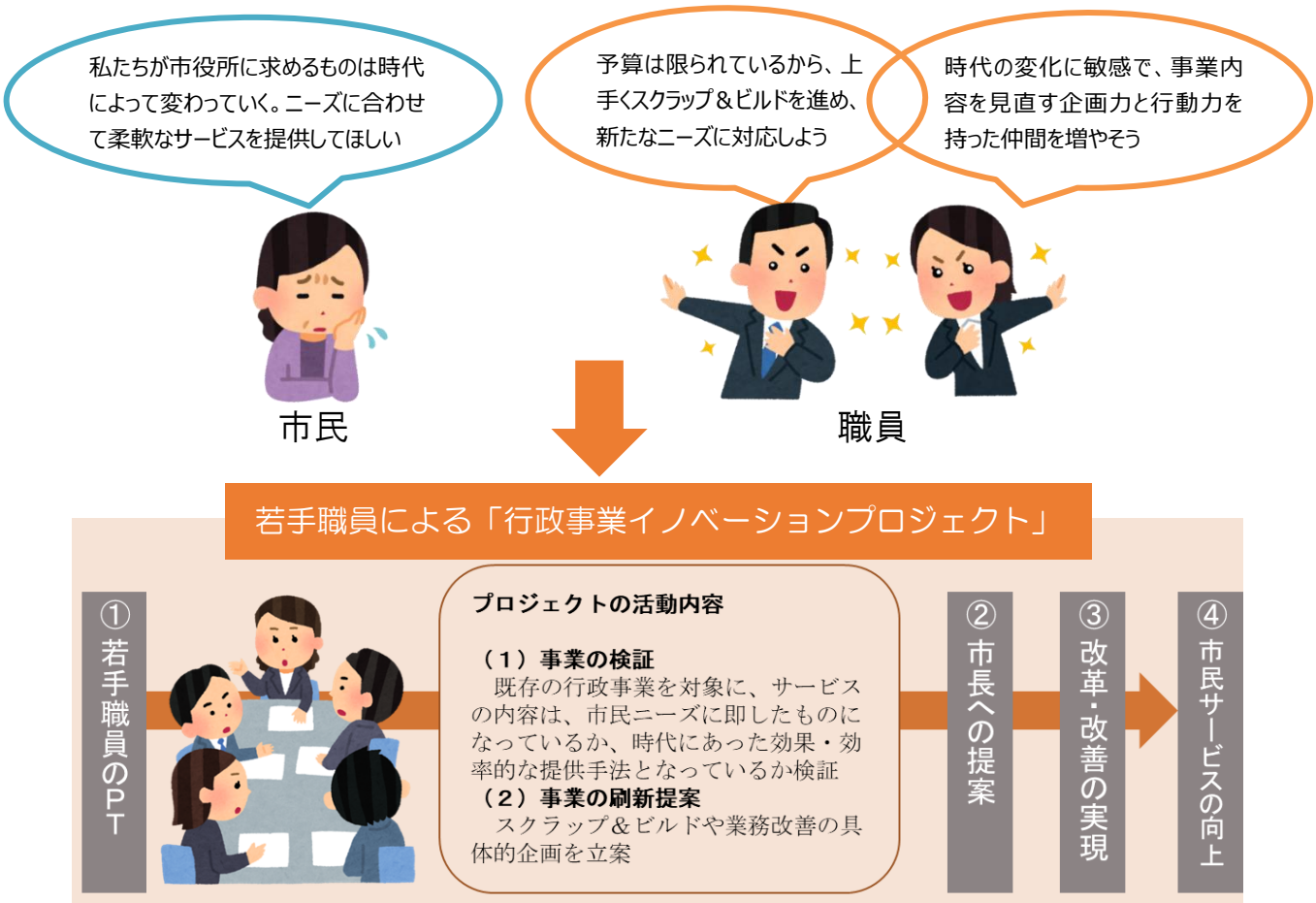
若手職員の将来を見据えた人財育成と「経験・しがらみ」にとらわれない柔軟な発想による事業の刷新や業務改革を行う事業マネジメント

（２）　参加職員

庁内公募による１６名（平均年齢２８歳）の職員が参加

（３）　取組内容

行政事業のサービス内容・提供手法が時代に即したものになっているか検証を行い、スクラップ＆ビルドや業務改善の企画を市長に提案



２　活動の経過

プロジェクトでは１６名の職員が、３つのグループに分かれて、マネージャー（課長職）の支援のもと、活動しました。また、グループ活動のほか、知見を深めるための外部講師研修や、提案テーマに関する先進自治体視察などを実施しました。

▲グループ活動の様子

（１） 定例活動

日 程		活動内容	日 程		活動内容
第1回	5月29日	○ 発令・ガイダンス ○ 外部講師研修 公認会計士・川口雅也氏 「行政事業の課題発見の着眼点、解決に向けたアプローチ方法」 ○ 職員講話	第5回	8月26日	○ グループ活動 事業再構築案の検討②
			第6回	9月18日	○ 外部講師研修 （株）話し方研究所・橋本秀雄氏 「プレゼンテーション研修」
第2回	6月7日	○ グループ活動 再構築に取り組むテーマの検討	第7回	9月30日	○ グループ活動 事業再構築案の決定
第3回	6月28日	○ グループ活動 再構築に取り組むテーマの決定	第8回	10月18日	○ プレ発表会 事務局管理職へのプレゼンテーション 提案内容のブラッシュアップ
第4回	7月31日	○ グループ活動 事業再構築案の検討①	第9回	11月20日	市長提案会

※定例活動のほか、個別のグループ活動、事業所管課ヒアリングなどを随時実施

（２） 先進自治体視察

日 程	グループ・視察先	視察内容
8月21日	Ｂグループ　青森県弘前市役所	公用車の管理及び運用について
9月4日	Ｃグループ　総務省行政管理局	執務室へのフリーアドレスの導入について
10月11日	Ａグループ　滋賀県近江八幡市役所	放置自転車事業における撤去・保管・返還方法について

（３） アンケート調査

時 期	グループ・調査内容
8月	Ｂグループ 出先機関に対する公用車の代替手段の活用に関するアンケート
10月	Ｃグループ 全職員に対する「時差勤務制度」活用意向アンケート

３　提案内容

約半年間、検討を重ね、３グループそれぞれが異なるテーマで、８つの取組を提案しました。

３つのグループからの提案

Ａグループ　市民に、もっと寄り添った放置自転車対策業務へ！

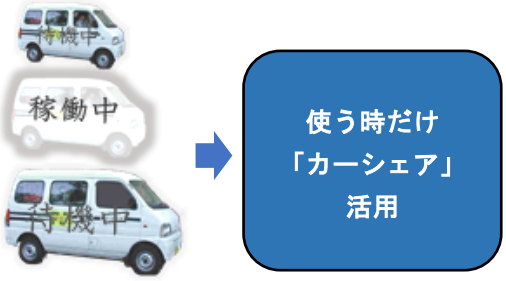
① スピーカー付画像認識カメラの設置と駐輪場の情報提供
② 自転車保管所の統廃合と駐輪場の一部保管所化

Ｂグループ　公用車に関する３つの提案

③ カーシェアの活用
④ 自家用車の公務利用拡大
⑤ 車両広告の導入

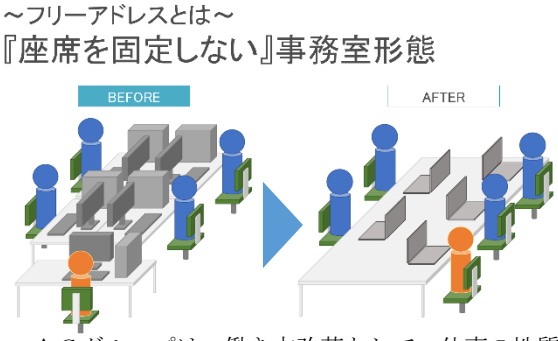
Ｃグループ　「八王子流働き方改革」～社会変化に対応した働き方の提案～

⑥ フリーアドレスの導入
⑦ 時差勤務制度の導入
⑧ 改善改革を組織課題に
・管理職の職責としての「業務見直し」の明記
・人事評価制度への成果の反映



▲Ｂグループは、カーシェアリングの普及に着目し、公用車としての活用などを提案

▲Ａグループは、「放置自転車のないまち」の実現と、効果・効率的な施設運営につながる取組を提案

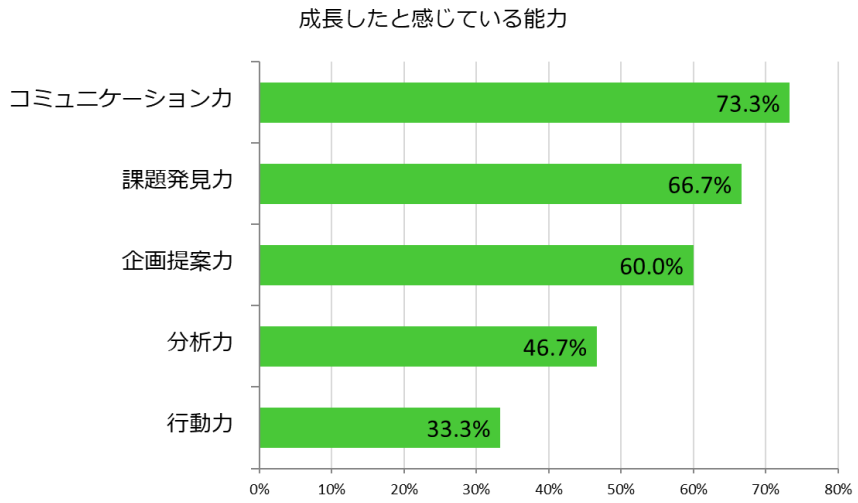


▲Ｃグループは、働き方改革として、仕事の性質にあわせたオフィス環境の改善などを提案

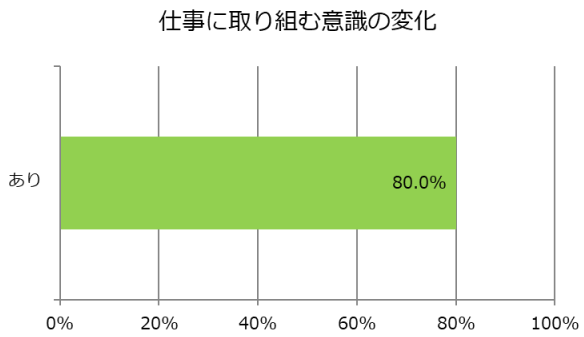
４　人財育成面の効果

プロジェクトの目的のひとつに若手職員の「人財育成」があります。プロジェクト活動の終了後に参加職員に行ったアンケート調査からは、参加職員が能力の向上や意識の変化を実感していることが読み取れます。

（１） 参加職員の能力向上



（２） 参加職員の意識変化



【どのような意識変化があったか】
- 業務改善意識が向上した。
- 業務効率化への意識が変わった。
- 業務外のことへの関心が高まった。
- 今行っている業務が当たり前ではないと感じるようになった。

（３） 参加職員の主な感想

- 事業の検討、見直し等について一連の流れを学ぶことができた。
- プロジェクトで得られた思考方法や視野を活かして業務改善に貢献し、より市民サービスを向上させていきたい。
- 他自治体の視察が自分の世界を広げ知識を得るための手段として有効であった。
- 提案内容の実現が、アイディアを積極的に発信する全庁的気運の高まりにつながる。

※いずれも参加職員へのアンケート調査から

５　提案に係る対応状況

プロジェクトチームからは、市民サービスの向上につながる「事業効果の向上」、コスト縮減や歳入の増加といった「経営資源の確保」、市役所の「組織の活性化」に貢献する取組が提案されました。

ここでは、提案を受け、令和２年度（２０２０年度）に実現予定としている取組をお示しします。

また、本プロジェクトにおいて提案された取組全てについて、第９次行財政改革の取組に位置付け、進行管理を行っていきます。

令和２年度予算に計上した取組、マンパワーで対応する取組

提案テーマ	令和2年度の取組	担当所管
1　市民に、もっと寄り添った放置自転車対策業務へ！	【予算化】 ・スピーカー付画像認識カメラの設置等 ・楢原町自転車保管所の廃止及び長沼町・堀之内自転車保管所の開所日の変更 ・京王八王子駅南自転車駐車場の一部を保管所化	道路交通部 交通事業課
2　公用車に関する３つの提案	【予算化】 ・カーシェア導入 導入施設 八王子駅南口総合事務所 生涯学習センター（クリエイトホール）	市民部 八王子駅南口総合事務所 生涯学習スポーツ部 学習支援課
3　「八王子流働き方改革」～社会変化に対応した働き方の提案～	【予算化】 ・ＯＡデスク等に代えてフリーアドレス用什器（机・椅子等）を導入 【マンパワー】 ・時差勤務制度について、課題（市民サービスや職場体制への影響等）を調査し、影響を見極めたうえで実施 ・「八王子市人財育成プラン」の中間見直しを踏まえ、人事制度等の検討・見直し	総務部 職員課・労務課

令和元年度「若手職員による『行政事業イノベーションプロジェクト』」メンバー16 名とマネージャー3 名（左列）